

保健室から
の発信



in 岡山

2022 夏の全国学習交流集会

すべての子どもと教職員の生命とひとみ輝く学校づくり

全教養護教員部では目の前の子どもたちの成長と発達を願い、多くの人と手をつないで支援することを大切にし、全国学習交流集会を開催しています。2020年はオリンピック開催、2021年は新型コロナウイルス感染症の流行のため2年間開催できませんでした。今年は岡山で3年ぶりに開催します。

記念講演は神戸女学院大学 石川康宏さん、自主講座は香川大学 渡邊久美さん、岡山県立大学 岡崎愉加さんにおこしいたします。分科会では全国各地の実践をもとに大いに学びあいましょう。みなさんの参加をお待ちしています。

とき **2022年7月30日(土) 7月31日(日)**

ところ **〈全体集会・自主講座・分科会〉おかやま西川原プラザ**

参加費 **3500円 (学生2000円)**

おもな日程

7月30日 (土)		12:00 ~	13:00~16:00	移 動	16:15~17:15
		受付	グ オ ー プ ニ ン 開会集会 記念講演		自主講座 分科会担当者 打合せ
7月31日 (日)	受付 9:00~ 9:20~	昼 食 休 憩	~15:15	準 備 設 置	~ 16:00
	分科会		分科会		閉会 集会

*参加申し込みは、別紙「申し込みについて」をご覧ください、期限を守り申し込んでください。

主催：全日本教職員組合（全教）養護教員部

〒102-0084 東京都千代田区二番町1 2-1 全国教育文化会館 3階全教気付

TEL 03-5211-0123 fax 03-5211-0124

現地実行委員会：岡山県高等学校教職員組合 TEL 086-272-2245

現地実行委員長：山下 知子

記念講演

コロナ危機を乗り越えられる社会を どうつくっていくのか ～子どもたちに希望ある未来を引き継ぐために、 今私たちができること～

講師 石川 康宏 さん（神戸女学院大学 名誉教授）



新型コロナウイルス感染症は未だ、収束の兆しは見えません。コロナ禍は経済の停滞、貧困問題の深刻化など、社会のさまざまなところに大きな影響をもたらしています。この状況は、世界全体の状況でもあり、まさに世界的規模の災害ともいえます。

今年2月、ロシア軍がウクライナに侵略を開始しました。他国への武力による威嚇や武力行使を禁じた国連憲章第2条4項に違反する侵略行為であり、正当化できません。全世界で反戦運動が広がっています。

日本国内ではロシアのウクライナ侵略を口実に、岸田政権や自民党、維新の会などから、非核三原則の見直しや軍拡、基地強化、憲法改悪の声が高まっています。

教育現場では貧困、いじめ、虐待、発達障害など子どもたちが抱えている課題は多種多様です。そんな今の日本の社会や教育をどう捉え、子どもたちに希望ある未来を引き継いでいくには、私たち大人に何ができるのでしょうか。

憲法や世界情勢の視点からひもとき、みんなで学びあいましょう。

1957年 北海道生まれ。立命館大学2部経済学部卒。京都大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。

1995年 神戸女学院大学文学部総合文化学科赴任。

2022年 神戸女学院大学名誉教授。最近の著作に『いまこそ野党連合政権を』（富田宏治・上脇博之氏と）、『若者よ、マルクスを読もうⅢ』（内田樹氏と）、『憲法が生きる市民社会へ』（内田樹・富田宏治氏と）など。平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）代表世話人、日本平和委員会代表理事、憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事他。

兵庫県西宮市在住。

自主講座

摂食障害の一次予防を考える ～ダイエットを始めたいあなたへ～

講師 コミュニティ家族ケア研究会

（養護教諭と看護職のIPEによる研究会）

渡邊久美さん 香川大学医学部看護学科精神看護学教授

岡崎愉加さん 岡山県立大学保健福祉学部看護学科助産学准教授

摂食障害は、食事が食べられなくなる拒食症、食べ過ぎてしまう過食症、食べては吐くことを慢性的に繰り返す過食嘔吐など、いくつかのタイプや症状がありますが、人間が生きる上で最も基本的な食に、自分の本質的な心の問題が置き換わってしまう病気と言えます。進学熱の高い高校で遭遇することも多いのではないのでしょうか。マスコミの影響を大きく受ける現代では、“やせると綺麗になる”という誤ったイメージが持たれがちです。このため、児童生徒への正しい知識の普及がとても大切になります。実際、体重減少が進むとホルモンバランスの乱れから月経異常が発症しますが、ホルモンバランスは女性の生涯にわたる健康に深く関与しており、その乱れは女性の健康を脅かします。思春期は人生の健康を左右する重要な時期であることから、やせの危険性と健康的な体作りの大切さに関心を持ってもらうためのパンフレットを作成しました。皆さんとともに若者への効果的な健康教育について考えていきたいと思ひます。

